

# 2023 WTCS / WPS 横浜 - TV/フォト モーターバイク・ドライバー説明

\*“ワールドトライアスロン”は国際競技団体の新しい名称

## 一般事項

1. TV/カメラマンが乗車するモーターバイクのドライバー向け指示は、各大会のワールドトライアスロン技術チームが作成し、その指示内容はOBSの責任においてTVスタッフと共有すること。
2. モーターバイクに乗る人は常にテクニカルオフィシャルの指示に従わなければならない。
3. (スタンダードディスタンス、又はそれ以下の距離の)競技コース上のモーターバイクの最大台数は以下の通り。  
個人競技 : 最大8台(TV 6台、フォト 2台)まで、  
混合リレー、及び パラトライアスロン : 最大6台(TV4台、フォト 2台)まで。  
テクニカルオフィシャルのモーターバイクがこの数に加わる。
4. 撮影計画とモーターバイク・ドライバーの打合せ記録を照合、確認するため、TV制作チームとワールドトライアスロンの技術チームとで現地打合せすること。
5. 上記の打合せの後、カメラオペレーター、カメラマン、モーターバイク・ドライバー、及びワールドトライアスロン技術チームとで、打合せ事項を確認するため追加打合せをすること。この打合せ結果によってはリハーサルが必要になることもある。リハーサルは、バイクの試走と並行して実施するのが良い。
6. 上記の打合せで、競技コース上のある1ヶ所で選手或いは選手集団の前方をメディアのモーターバイク1台のみが走行する事をTDは許可しても良い。そうでない場合、モーターバイクに乗車しているカメラマンもカメラオペレーターもコースの許可された区間でのみ、後方又は側方から撮影することが許される。許可されたコース上の区間でのみ前方45度又は側方から撮影できる。(図A 参照)

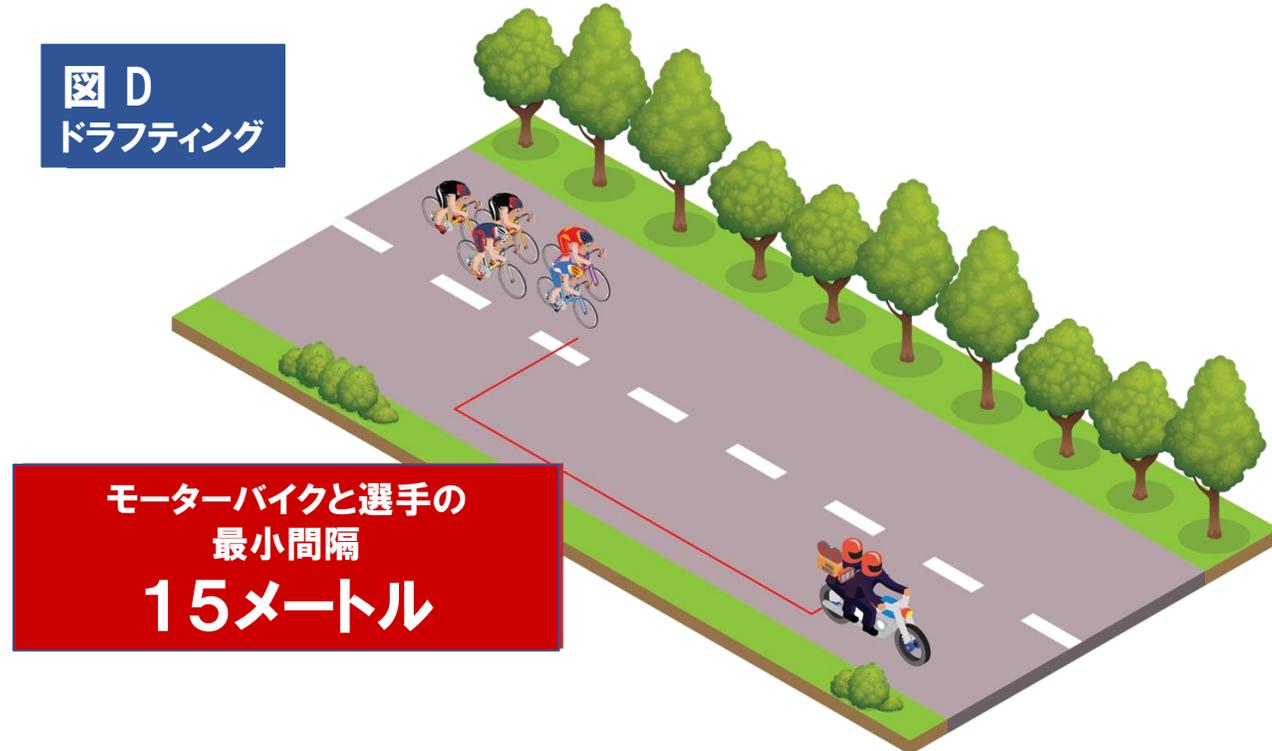


7. モーターバイクが後ろ向きで着座できる形式で、且つドライバーとカメラマン/カメラオペレーターに支障が無い場合のみ、カメラマンもカメラオペレーターも後ろ向きに座っても良い。
8. モーターバイクに乗車したカメラオペレーターは両側での撮影が可能であること。もし片側のみが可能である場合は、ほぼ全てのエリアでモーターバイクがカーブの外側を走行できる側から撮影すること。
9. 2つの集団が合流しそうな場合、TVのモーターバイクはその間に入ってはいけない。モーターバイクは後方から撮影する位置を取り、前方に移動する余裕があるコースレイアウトのときだけ前に移動して良い。(図 B 参照)
10. 双方向の往復路のコースではモーターバイクはセンターラインを越えてはならない。センターラインを越えて走行してもよいのは、事前にTDが認めた特定の状況(最初の周回等)の場合のみである。(図 C 参照)
11. 安全な、望ましくは競技コースの外側でレースの流れに支障をきたさないエリアで、バイクを停車して撮影が許可される場所を除いて、コース上では停車してはいけない。停車して良い場所は予めTDが定める。
12. 選手が追走してしまうかもしれないので、特別な事情(トランジションエリアをモーターバイクが抜けられない、等)でTDが認めていない限り、モーターバイクはコースをショートカットしてはいけない。



## ドラフティングゾーン

13. 選手にドラフティングさせてはならない >> ドラフティングさせると選手にタイムペナルティが課せられてしまう。  
選手が車両のスリップストリームの恩恵を受けないように、モーターバイクと選手の**最小間隔は15m**とする。（図D 参照）
14. モーターバイクが選手の前方を走行する場合は、選手がコーナーに進入するより前にモーターバイクはコーナーを脱出しているように、選手より少なくとも**30m前方**を走行すること。
15. ラン競技中は、モーターバイクと選手との最小間隔は**5m**に縮小される。



## TVモーターバイクの不適切な位置取り

1. TV バイクがコーナーで選手に近すぎる



2. TV バイクが選手にドラフトさせている



## 事故が発生した場合の行動

16. 事故(例えば、選手がコース上で転倒)が起こった場合、モーターバイクは、後続の選手の流りに影響しないように、或いは更に事故を引き起こさないように、できる限り最も安全な場所で側方にいなければならない。

## 連絡・コミュニケーション

17. もしモーターバイクが選手に近づきすぎたり危険な状態にしたりした場合、ドライバーは無線を通じて(プロデューサーから若しくはそれがかなわない場合にはワールドトライアスロンのテクニカルオフィシャルから直接に)最初の警告を受ける。2度目には、ドライバーはワールドトライアスロンのテクニカルオフィシャルから直接に警告を受ける。3度目はそのモーターバイクは競技コースから排除される。モーターバイク・ドライバーが何かひどいことをしたとTDが判断した場合は、即刻コースから排除される。

## >> 注意事項

ワールドトライアスロンの技術代表(TD)からの大会独自の指示事項と合わせて、本書を読むこと。

## 大会独自のガイドライン（地図を参照のこと）

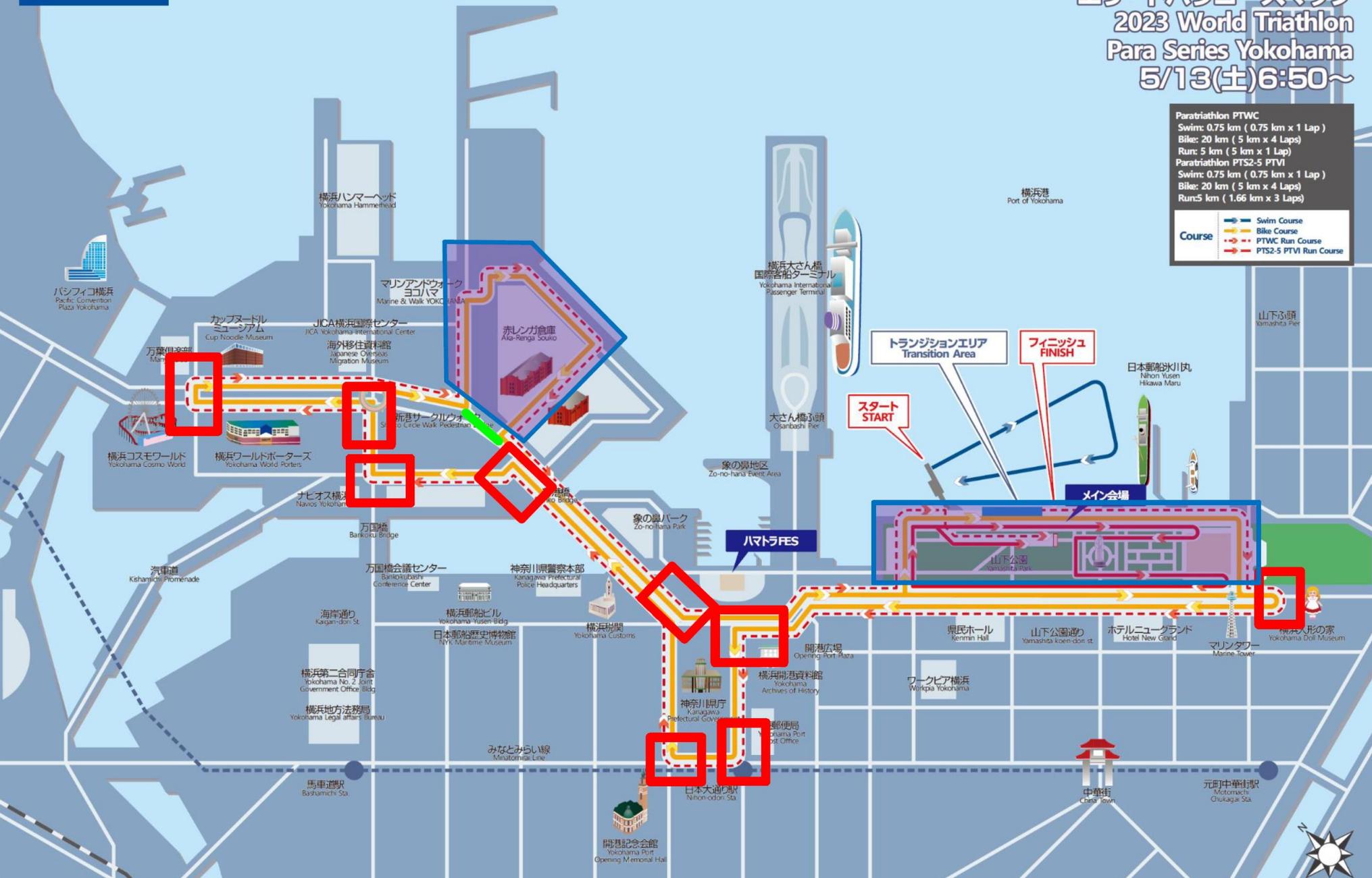
- A) コースは完全に閉鎖されており、安全性が確保されています。
- B) **赤枠**で囲われている全エリアでは、モーターバイクは選手の前方向30m、或いは後方にいなければなりません。
- C) **紫枠**で囲われている全エリアには、いかなる場合もTVモーターバイクは進入してはいけません。但し、最後尾TOバイクは例外で、選手を追走して、会場内/トランジションエリアに進入します。
- D) それ以外のコース上のエリアでは、前述の事項に配慮して、選手の前方向を走行してもかまいません。
- E) TVモーターバイクは会場内/トランジションエリアに進入することはできません。地図上に**退避ルート**として示されたショートカットのルートがあります。
- F) エリートのコースは、フラットで、4.45kmの9周回です。コースルートは、方向変換や狭いターンが多いため、習熟した運転技術が要求されます。
- G) 特に狭い箇所(**赤枠**)では、選手より少なくとも30m以上離れて先行するか、選手の後方を走行してください。選手の安全を確保するため、ご理解ください。
- H) TVカメラのモーターバイクは、**青枠**で囲んだ山下公園内には進入できません。

# ワールドトライアスロンパラシリーズ(2023/横浜) エリートパラコースマップ 2023 World Triathlon Para Series Yokohama 5/13(土)6:50~

**Paratriathlon PTWC**  
 Swim: 0.75 km ( 0.75 km x 1 Lap )  
 Bike: 20 km ( 5 km x 4 Laps )  
 Run: 5 km ( 5 km x 1 Lap )  
**Paratriathlon PTS2-5 PTVI**  
 Swim: 0.75 km ( 0.75 km x 1 Lap )  
 Bike: 20 km ( 5 km x 4 Laps )  
 Run: 5 km ( 1.66 km x 3 Laps )

**Course**

- Swim Course
- Bike Course
- PTWC Run Course
- PTS2-5 PTVI Run Course



トランジションエリア  
Transition Area

フィニッシュ  
FINISH

スタート  
START

メイン会場  
Main Venue

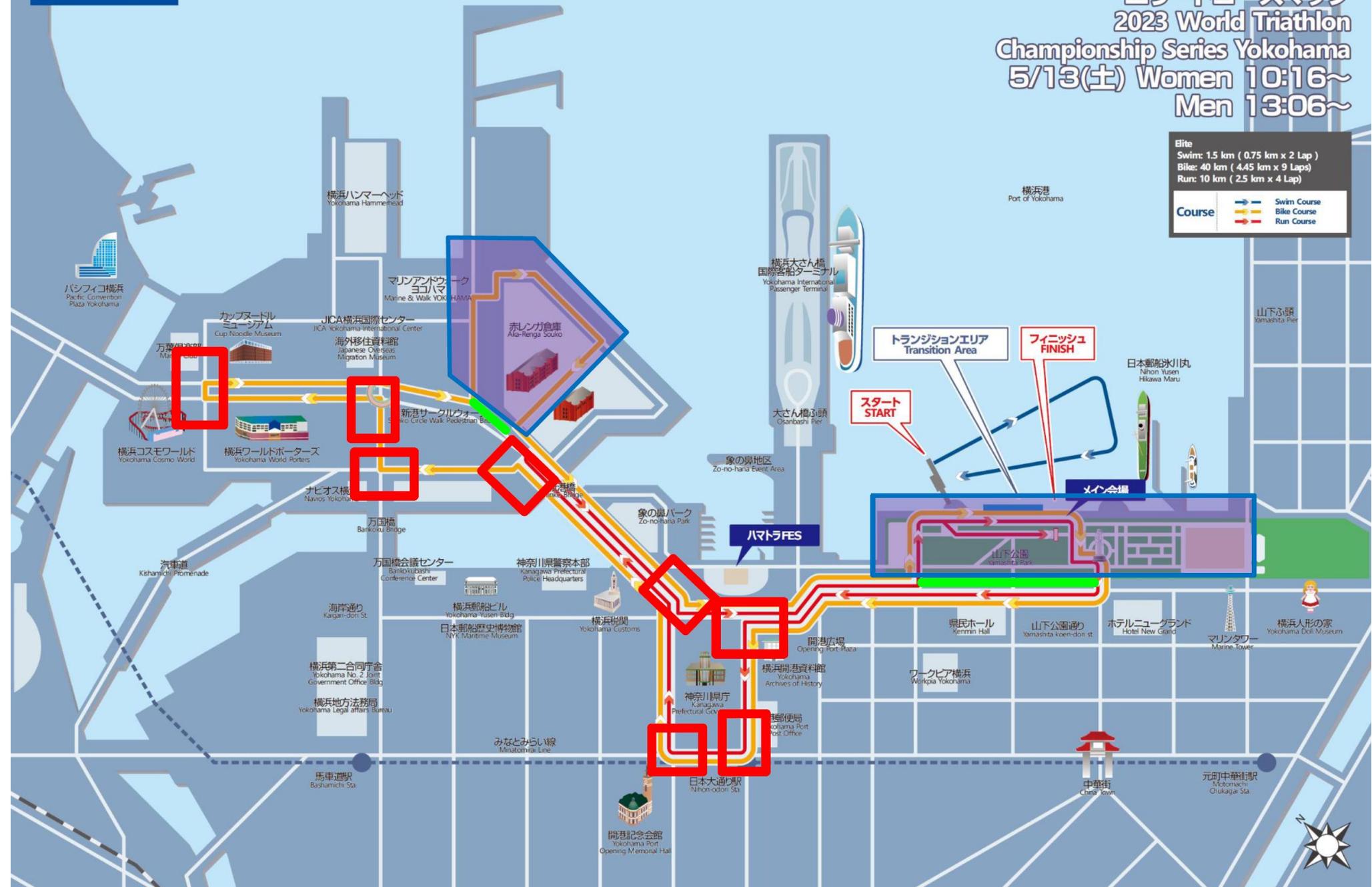
ハマトラFES



# ワールドトライアスロンシリーズ(2023/横浜) エリートコースマップ 2023 World Triathlon Championship Series Yokohama 5/13(土) Women 10:16~ Men 13:06~

Elite  
Swim: 1.5 km ( 0.75 km x 2 Lap )  
Bike: 40 km ( 4.45 km x 9 Laps )  
Run: 10 km ( 2.5 km x 4 Lap )

Course	Swim Course	Bike Course	Run Course



# Plan\_B in Contingency

## Paratriathlon

### 6:50~スタート

[Paratriathlon PTWC]  
 Swim : 0.75 km ( 0.75 km x 1 Lap )  
 Bike : 20 km ( 4 km x 5 Laps )  
 Run : 5 km ( 2.5 km x 2 Lap )  
 [Paratriathlon PTS 2-5 & PT VI]  
 Swim : 0.75 km ( 0.75 km x 1 Lap )  
 Bike : 20 km ( 4 km x 5 Laps )  
 Run : 5 km ( 1.66 km x 3 Laps )

Course  
 Swim Course  
 Bike Course  
 PTWC Run Course  
 PT2-5 Run Course

